

■ 良好事例と助長策 ■

良好事例	助長策
<p>○ 状況に応じてNISS，ボード，口頭，紙など各種媒体を適切に活用して情報伝達と共有を行っていた。</p> <p>○ 総括・広報チームが全チームの参集状況を確認し県現地本部としてまとめて総括班に報告していた。役割を認識しての行動と考えられる。ただし，遅れて参集した警察チームの状況が反映されなかったことは課題である。</p> <p>○ 医療チームで，会議開催の館内放送を聞いた班員が，班長に開催時刻を伝達していた。（OFC医療班でも同様。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単なる良好事例として終わらせず定着させることが重要である。マニュアル等を実例とともに記載し，事前説明会等で周知し，訓練で実践する。</li> <li>・ 大枠でも良いので，県現地本部の活動マニュアルを策定し，訓練で得た教訓などを反映していくことが望まれる。</li> <li>・ 館内放送は重要情報であることが多いので，聞き逃し防止対策の良好事例と言える。班内で館内放送記録役を定めることをマニュアル等に反映し，研修・訓練で実践することにより，左記事例の助長と定着が期待できる。</li> </ul>

■ 改善すべき事項及び今後の対策 ■

改善すべき事項	今後の対策及び当該方法を推奨する根拠
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自チーム内の参集者確認，NISSによる情報収集はできていたが，班長に報告するのみでチーム内情報共有が不徹底な事例があった。</li> <li>● 県本部会議が独立したシナリオで実施され，参集者との連携がなく，また，県現地本部長と総括・広報チーム所とのやりとりも見られなかった。</li> <li>● 産業経済チームの活動が少ない，そもそも初動時は役割がないのではないかとの意見が見られた。</li> <li>● PCが少なく，電子ボードもないので情報共有に制約がある。</li> </ul>	<p>今後の対策及び当該方法を推奨する根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の共有不足は，情報の錯綜や状況の誤認を招く可能性がある。マニュアル等に班内情報共有の重要性と手順を明記し，事前説明会等で周知するとともに，訓練で実践する。</li> <li>・ 県現地本部会議を実施することにより，県本部との連携，県現地本部内の情報共有の促進が期待できる。ただし，会議時間の増大を避けるため，要所の会議のみ開催とし，その他は想定でも良い。</li> <li>・ 民間事業所の避難計画確認や協力要請，屋内退避長期化対応など，具体的な項目を洗い出して役割分担と体制を再検討することにより，要員の有効活用と目的意識の向上が期待できる。</li> <li>・ 今後はNISS使用が前提となると考えられるので，PC増備と電子ボード配備が望まれる。</li> </ul>

ウ OFC機能班訓練

初心者が多かったが、班長や経験者のリードにより、各組織の基本的な活動を実施することができた。

■ 良好事例と助長策 ■

良好事例	助長策
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 班長が参加者の経験等を踏まえて役割分担を行う事例が見られた。</li> <li>○ 各班で、NISS、ボード、地図、口頭など各種媒体を適切に活用して情報伝達と共有を行っていた。</li> <li>○ 研修・訓練経験者が未経験者に助言・指導する事例が見られた。</li>   <li>○ 住民安全班と住民安全チーム、医療班と医療チームでは、良好な連携が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良好事例としてマニュアルや事前説明資料に記載し、周知すると共に演習等で実践することにより、好事例の普及や定着が期待できる。</li> <li>・ 実災害時にも初心者の参集や想定外の事態発生の可能性があり、事前の備えが必要である。状況に応じた連携・協力が不可欠であることを事例とともにマニュアル等に記載し周知するとともに、研修・訓練で実践する場面を作ることにより、好事例の普及や定着が期待できる。</li> <li>・ 配置が隣接していること、相互に面識があること、訓練経験などが要因と考えられる。一過性の事例とせず、定着と助長を図るため、マニュアル等に実例を挙げて記載、周知し、研修・訓練で実践することが望まれる。</li> </ul>

■ 改善すべき事項及び今後の対策 ■

改善すべき事項	今後の対策及び当該方法を推奨する根拠
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気象情報が、气象台とコントローラーから重複して配信されていた。</li> <li>● 住民安全班の活動場所が人数に比して狭く、活動に支障がある。</li> <li>● NISS担当者がERC事務局長ではなく、ERC医療班宛てに送付しようとした。内閣府図上演習未経験で事前説明会も欠席しており、訓練上のNISSルールを理解していなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練関係者間での情報共有と手順確認を、チェックリストを作成して綿密に行う。</li> <li>・ 各班の人数と動線を考慮して、活動場所や機器を再配置することが望まれる。</li> <li>・ ア①に示したように訓練計画を早期に提示し、適切な訓練参加を促進する。また、図上演習、事前説明会の何れかには出席するよう周知する。また、やむを得ず両方欠席した参加者への対策として、最低限必要なルールや想定を</li> </ul>